

(様式1)

学校番号 (小・**中**) 14 )

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(南陽中)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・情報発信の工夫をすることで、子供たちを学校だけでなく、地域(家庭を含む)全体で育てていくものであるというコミスクの理念を地域の人に人々に正しく理解していただくよう努める。
- ・当協議会として学校教育並びに目指す生徒像、目指す職員像の具現化に向け、小さなことでもよいので具体的な手立てを考えていきたい。
- ・学校、家庭、地域の役割分担を明確にして実践していきたい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ **ア** よくできた **イ** できた **ウ** あまりできなかった **エ** できなかった  
(理由)

- ・昨年度の評価を反映した教育目標に対し、共通理解を深めることができた。
- ・「魅力ある授業」「磨き合う職員集団」「保護者・地域連携」の3本柱が明確で、学校側の説明もわかりやすかった。
- ・生徒が多様な価値観に触れ、自ら考え行動できる力の重要性を再確認した。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ **ア** よくできた **イ** できた **ウ** あまりできなかった **エ** できなかった  
(理由)

- ・授業改善やGIGAスクール対応、部活動の地域移行への前向きな取り組みを確認できた。
  - ・学校評価に基づき、生徒・保護者の現状を理解した上で熟議が進められた。
- 課題：既存の取り組みは継続できているが、協議会独自の「新たな活動提案」には至っていない。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ **ア** 充分に行った **イ** 行った **ウ** あまり行わなかった **エ** 行わなかった  
(理由)

- ・「コミスクだより」やHP、さくら連絡網による発信は一定効果があった。
- 課題：協議会として地域への直接的な発信や、CSそのものの認知度向上にはまだ不十分さを感じる。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ①CS理念の正しい理解を促すため、保護者・地域への発信方法を継続して模索する。
- ②協議会として、学校・家庭・地域の役割を明確にし、それをつなぐ具体的な手立てを考えて実践する。
- ③生徒の学習・生活・安全面の課題を共有し、小さなことでも「南陽中らしさ」を大切にしたい視点を大切に具体的な支援、改善策を熟議する。

※印刷時に、文末まで印字されているかを必ず確認してください。